

## 住民自治協議会だより

第9号

発行：小田切地区住民自治協議会

住みよい地域づくり  
を目指して

住民自治協議会会長 海沼 一夫

本年度は、小田切地区住民自治協議会発足以来5年目を迎える節目の年になりました。

高齢化、過疎化が一段と進み、小田切地区の現状はまことに厳しいものがあり、活性化策の決定打が見い出せない状況です。現状を守り、住みよい地域づくりをいかに進めて行くかが、住自協に課せられた最大の課題です。

住自協総会（4月19日開催）において、25年度事業計画、一般会計収支予算（804万円）が承認されました。各部会の事業計画をお知らせします。

## 〔総務・安全防災部会〕

- (1) 定例区長会の開催
- (2) 広報紙「住自協だより」の発行
- (3) 防災訓練の実施

防災・安全対策推進のため、支所、消防署、小田切分団と協力し、防災訓練を実施します。

- (4) やまざと支援交付金事業の実施

昨年につづき総額180万円（地域活性化推進員人件費含む）の予算が認められております。支援員の活動費等有効に活用してまいります。

- (5) 期日前投票支援事業の実施

7月21日に参議院議員選挙、10月に長野市長選挙が執行予定です。投票所へ行く事が困難な方は、タクシーによる送迎を行いません。ご利用下さい。

## 〔福祉・健康部会〕

- (1) 小田切地区地域福祉活動計画の見直しと実践

23年に策定された活動計画は2年が経過し、その進捗状況を検証する中で、支え合える地域づくりを目指し、また、ボランティアセンター設置についても検討をしております。

- (2) 福祉委員会による各種事業の実施

おしゃべりサロン、一人暮らし高齢者の集い、喜寿祝賀会などを開催し、福祉の増進に努めます。

- (3) 地区健康保健活動の推進

保健指導員が、保健師さんと協働で、健康の維持



小田切地区住民自治協議会総会

増進に向けて活動を推進します。

## 〔環境・地域活性化部会〕

- (1) 環境整備・美化活動の推進

春・秋の2回、区毎にゴミゼロ運動を実施し、道路や公共施設等の一斉清掃を行います。また、不法投棄がしにくい環境づくりに努めます。

- (2) 農作物の有害鳥獣対策

小田切地区農業振興事業補助金交付要綱により、予算の範囲内で補助金を交付します。

- (3) 観光施設の整備

富士ノ塔山頂のモニュメントを改修します。

- (4) 遊休農地の活用対策

小野平に於いて事業を展開しています。また、うんめえ塾は、4月28日に開講式を行ない、酒井塾長のもと第2期がスタートしました。

## 〔教育・文化部会〕

- (1) 市立公民館・地域公民館連携による事業の推進

①万級学級やふるさと学級による生涯学習を進めます。

②各種スポーツイベント開催を通して、健康維持増進や地域・世代間交流を図ります。

③団体・サークル活動や地域公民館事業を支援します。

- (2) 青少年子ども育成活動を通じた次世代の育成

体験事業などを実施し、健全育成を図ります。

- (3) 明るく心豊かな地域社会に根差した人権啓発活動の推進

①明るい社会運動を進める住民集会を開催します。

②人権教育講座による啓発活動を推進します。

- (4) 文化財の保存や継承活動の支援

住自協全体としては、「小田切を元気に」を合言葉に、地区の特性を生かし、課題に柔軟に対応した活動を展開いたします。よりよい地域づくりを目指し、役員一丸となって取り組んでまいりますので、本年度も皆様方のご支援ご協力を心からお願い申し上げます。

# 平成25年度小田切地区住民自治協議会収支予算書

(一般会計)抜粋

## 収入 主なもの

<公的補助>	5,630千円
・地域いきいき運営交付金	3,570千円
・補助金・助成金	2,060千円
事務局長設置費、地域福祉推進事業、福祉のまちづくり実践事業、わくわく体験、住民自治活動保険料、社会を明るくする運動	
<地区負担金>	1,215千円
11地区 430世帯	
<雑収入・繰越金>	1,195千円
合 計	8,040千円

## 支出 主なもの

<総務・安全防災部会>	420千円
・区長会等事業費	225千円
・広報紙発行費	75千円
・防災費	50千円
・その他	70千円
<福祉・健康部会>	2,022千円
・地域福祉推進事業費	1,235千円
・福祉委員会事業費	640千円
おしゃべりサロン・喜寿祝賀会、一人暮らし高齢者の集い他	
・保健補導員会事業費	147千円
<環境・地域活性化部会>	430千円
・環美連事業費	96千円
・有害鳥獣対策事業費	70千円
・遊休農地活性化対策	10千円
・観光施設整備費	254千円
<教育・文化部会>	1,298千円
・人権同促協事業費	140千円
・青少年子ども育成事業費	123千円
・地公連事業費	1,034千円
<事務局費・一般管理費>	2,796千円
<配分・委託料・補助金>	276千円
<繰出金>	300千円
・福祉自動車特別会計に支出	150千円
・うんめえ塾特別会計に支出	150千円
<積立金>	133千円
地公連館報縮刷版作成費他	
<予備費>	299千円
合 計	8,040千円

## (福祉自動車特別会計)

(収入)	1,300千円 (内住自協からの繰入金 150千円)
(支出)	
170千円 (事務費関係)	400千円 (燃料費)
130千円 (保険料)	150千円 (予備費)
450千円 (車輛管理費)	

## (やまざと支援交付金事業特別会計)

(収入)	1,800千円 (やまざと支援交付金)
(支出)	
800千円 (雇用費) 地域活性化推進員 2 名分	
664千円 (報償費) 生活支援員活動費、 運転協力員活動費他	
336千円 (賃借料) 軽ワゴンリース代	

## (地域活性化事業「うんめえ塾」特別会計)

(収入)	840千円 (内住自協から繰入金 150千円)
(支出)	840千円

募金ありがとうございました!!

## 平成25年度 日赤社資・募金 結果報告

(単位：円)

区名	戸数	日赤社資	日赤募金	緑の募金	計
深 沢	42	10,000		2,645	12,645
吉 窪	46	15,500	7,500	3,150	26,150
下宮野尾	26	5,000		1,650	6,650
上宮野尾	35	14,000		2,765	16,765
上山田中	15	8,000	7,500	1,200	16,700
下山田中	25	14,000		1,250	15,250
国 見	40	39,000		3,200	42,200
中 組	23	20,000		1,840	21,840
千 木	15	13,000		1,220	14,220
地 蔵 平	62	31,000		6,180	37,180
裾 花	98	20,500	28,450	16,830	65,780
計	427	190,000	43,450	41,930	275,380

## 大型工事が続く県道・市道

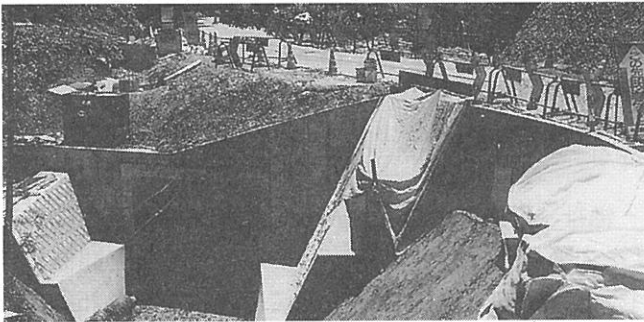
小田切地区内の県道・市道で24年度に続き25年度も大型の道路改良工事がすすんでいます。

### 県道入山・小市線

長年の悲願でありました、下深沢と上深沢の間にある沢渡橋の架け替え工事が、中部建設工業㈱により1月7日に着工しました。その後、4月19日までおよそ100日余に及ぶ完全通行止めとなりました。

橋の架け替えは、ボックス・カルバート工法により、橋の上流、下流の護岸工事、道路の拡幅等で工事金額は約6,500万円です。

現工事の終了は7月中旬の予定で、引き続き改良、拡幅工事が予定されています。



### 小川線の工事について

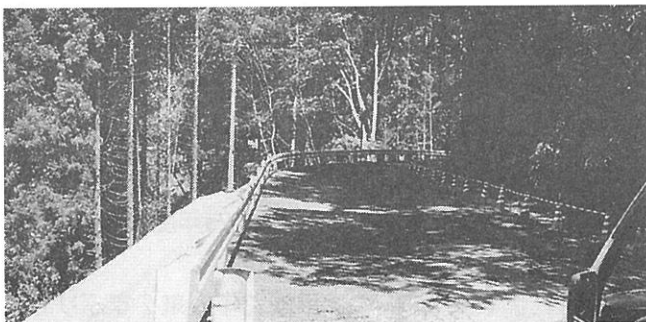
柳澤 光大

昭和の初期、学識経験者による西山地域にも産業道路を作って人間の背中から、荷車・リアカーの通れる道を作るという事で、小田切・七二会・栄村・日里・南小川・北小川の稲丘まで約29キロメートル、巾員2メートルが基本的に合意し、昭和13年着工。鍬やスコップ、土の移動はモッコしかなく急傾斜に作るという事で苦難が多かった事です。

30年の長い年月に亘り全線が開通し、バスが運行するようになり昭和31年に川後までくるようになったのです。

市道から県道に昇格し、行政の力で改良に改良を重ね現在に至った訳です。

尚、国見・湯山の皆様には北部開発として活動していただいた事に感謝申し上げる次第です。



工事場所 小川長野線 田中東  
工 期 平成25年3月26日～7月25日  
工事概要 道路改良工 補強土壁工 側溝工  
施 工 者 株式会社 キトウ  
工事金額 3,000万円

### 市道矢平・保玉線道路改良工事

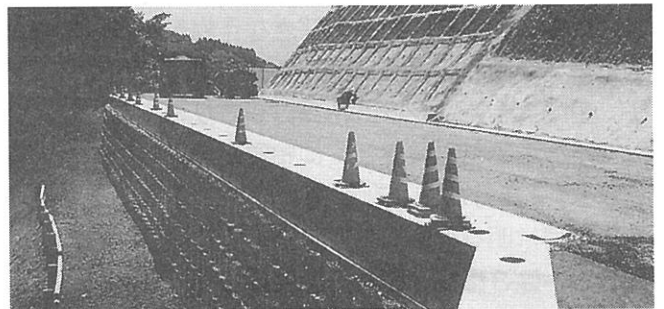
戦後逸早く車社会を見透して、車道改設に労力奉仕で取り組んだ矢平保玉線も改良の歳月を経て、幅員7mの基本計画が進み、此の度、久保・仏工伝間の工事が完成しました。

平成21年度までに、下宮野尾区間の整備が一応終り、続いて上宮野尾領域に移行してきました。工事の内容は次に示す通りですが、各方面のご協力をいただいて快適街道に変貌しました。

#### 1 工事概要

工 事 名 平成24年度矢平保玉線道路改良工事  
工事場所 塩生乙 久保・仏工伝間  
工 期 平成24年9月～平成25年6月  
改 良 工 L=150.36m W=7.0m  
施 工 者 信和建設株式会社

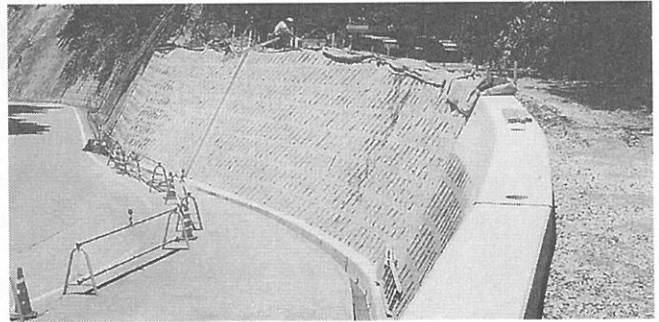
#### 2 工事金額 約6,000万円



### 市道36号線（平林入口）

平成24年度予算により、県道入山・小市線から分岐して平林集落へ通じる市道36号線で、カーブ改良に合わせて一部拡幅工事がおこなわれています。

建設費は約1,200万円で、工事業者は大同建設㈱です。延長84mで、7月中頃の完成予定とのことです。





## 第2期「うんめえ塾」に 73人が参加

### 長野市の補助金は52万円

市やる気支援補助金事業に応募して昨年からはじめた「うんめえ塾」は今年も52万円の交付をえて4月28日の開講式と馬鈴薯の植え付けでスタートしました。

第2期となった今年は、A 馬鈴薯と野沢菜・大根 B 枝豆と野沢菜・大根 C そば栽培コースの3コースにわけて塾生を募集したところ、Aコースには23人、Bコースには25人、Cコースには25人と延73人の応募をいただきました。

### 枝豆栽培には25人が参加

枝豆栽培は6月2日に行いました。お子さん連れの塾生もあって25人が参加して5アールに「湯上り娘」2,000粒を蒔きました。収穫は8月下旬の予定で枝豆祭りのイベントにも使用する予定です。

### 蕎麦の播種は7月21日を予定

Cコースのそば栽培コースは7月21日播種を行う予定です。昨年もそばの栽培をしており、25人の塾生の皆さんは品質の良いそば作りに今から期待を寄せています。

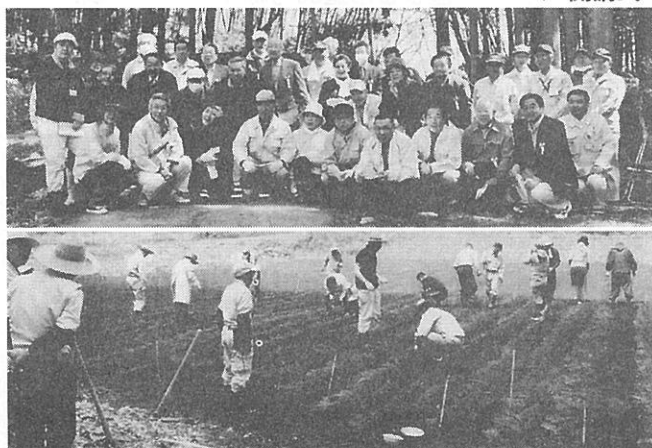
### 楽しいよ、フリースペース

今年の目玉は一人一坪のフリースペースコーナー。ここに塾生の皆様が自分の好きな作物を栽培してみようという企画。人参、ホウレン草、葱、落花生、唐辛子、里芋、金時、レタス、ブロッコリー、セロリ、サツマ芋、馬鈴薯、枝豆と実に13種類の作物が生育しています。「自分が植えた作物の成長が楽しみ」と語る塾生の目は明るく輝いていました。

### イベントは3種類、新たに枝豆祭りも

イベントは8月25日の枝豆祭り。11月23日～24日の野沢菜採りツアー、12月7、8日のそば打ち体験ツアーの3種類です。昨年を上回る盛況が期待されています。

▼ 開講式



## 地域活性化推進員

4月より塩入孝男さんに代わり、梅本昭二さん(上深沢)が就任しました。宜しくお願いします。

## 就任のご挨拶

支所長補佐 夏目 英俊

このたび4月の人事異動で、小田切支所長補佐として赴任しました夏目英俊です。

前職場は古牧支所で、同じく支所長補佐をしていました。

支所勤務は4回目ですが、前古牧地区は長野市街地の中心、人口も2万6千人を超える都会的などころでしたが、小田切地区は対照的に中山間地の静かなところで、大自然を満喫しながら通勤しています。

微力ではありますが、皆様のお役に立てるよう頑張りますので、よろしくお願い申し上げます。

## 一人暮らし高齢者の集い開催される

福祉・健康部会は、7月3日稲荷山温泉杏泉閣にて「一人暮らし高齢者の集い」として昼食会を開催しました。地区内の対象者は68名ですが、当日は25名がバス2台に分乗し参加しました。

昨年までは個人負担はありませんでしたが、年々対象者が増えるに伴い、今回は一人1,000円を負担いただき開催されました。

## 新福祉介護施設建設決まる

社会福祉法人長野南福祉会(理事長 倉石和明氏)は、長野市の介護老人施設の建設に応募し、11事業者の中から事業者に決定しました。

新施設は地域密着型介護施設とのことで、建設場所は篠ノ井村山の国道19号線沿いです。

この施設建設計画について長野南福祉会より、建設要望書の共同提出の提案が本年1月にあり、小田切住民自治協議会は、老人クラブ等4団体連名で提出しました。

完成は平成26年4月の予定ですが、特養10床、ショートステイ9床、デイサービス10人受け入れ可能で小田切、七二会、中条、信州新町、信里地域の住民が優先で利用できます。

## 地区防災訓練計画

小田切住民自治協議会は、平成25年度の防災訓練を11月10日(日)実施で計画しています。

地区として実施するのは平成23年以来2年ぶりです。